

地域の労働者と青年の結集をめざす

横三労連新聞

第3号

2007年1月18日発行

<http://www.yokosan.info/index.htm>

〒238-0006 横須賀市日の出町2-9 046-823-0210 (内線433)



有効署名3万7千余!

原子力空母母港化の是非を問う住民投票直接請求署名は、選管の審査を受け、署名総数41,591筆、有効署名数37,858筆と確定し、成功させる会は、1月17日に市長に本請求を行いました。住民投票条例を審議する市議会は、2月5日から8日まで開催されます。市議会議員へのはたらきかけが重要になっています。

成功させる会では、市議の皆さんとの地域懇談会を8箇所で開催している他、Yデッキでの宣伝(毎日曜1時~2時)、市民集会(1/27(土)2時ヴェルク)、新聞紙上への意見広告掲載(読売・神奈川)などの活動を展開しています。ポスターやステッカーも新たに出来ました。横三労連でも、阻止連に結集し、1/21(日)10時、文化会館に集合して市議宅訪問や、「意見広告」賛同金(1口千円・目標額200万円)に取り組みます。

成人の日に定例宣伝!

争議共同オルグ実施!

横三労連は、新年最初の宣伝を成人の日に行い、6名の幹事が参加しました。今回のピラは、新幹事のHさんに作成してもらい、労働法制改悪反対と、原子力空母の是非を問う住民投票条例の制定を市議会に求める内容で宣伝をしました。合わせて、神奈川労連のピラ(最低賃金・知事予定候補)を、1時間半で300枚配布しました。

定刻前にYデッキで準備をしていると、藤野英明市議が新成人を対象に宣伝をされていましたが、我々がハンドマイクを準備し始めると、場所を譲ってくださいました。恐縮してご挨拶がてら、配布するチラシをお渡しすると、「ホワイトカラーエグゼンプションが実施されたら大変ですよ。頑張ってください」と激励を受けました。こちら側からは、住民投票条例の直接請求署名の取り組みに対する協力のお礼を申し上げておきました。

次回の宣伝は、2/11(日)午後2時からです。

1月11日、争議共同オルグ行動が取り組まれ、横須賀地域では山本事務局次長、新倉幹事、竹山県医労連書記長とJMIU・IBM吉野さんが参加して、土建・民商の他、未加盟労組にオルグを行いました(全厚生横須賀分会、全運輸港湾建設労組東京湾口航路支部、全労働横須賀基準分会、同横須賀職安分会、湘南学院教職員組合、横須賀学院教職員組合、横須賀自動車学校)。九条の会青年部からの要請文も持参し、手渡してきました。久里浜自動車学校は残念ながら休校日でお会いできませんでした。

未加盟労組の状況

神奈川自動車労働組合の加盟単組である久里浜自動車学校では、大店舗の進出計画があり、自動車学校はこの3階に入る予定だそうです。ところが、ここでは大型免許はもう取れなくなるため、自動車学校の労働者が移転して帰ってきたときに職があるのかの心配があります。横三労連では、建交労の仲間の協力も得ながら、自動車学校の仲間への働きかけを強めます